

民意を反映する選挙制度実現 比例定数削減反対！ 運動情報

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【憲法しんぶん速報版】

2012年9月29日

第361号 Tel 03-3261-9007
本号4号 Fax 03-3261-5453

「2012年憲法講座」まで3週間

「改憲・集団的自衛権行使容認三羽烏(民主・自民・維新)」の策動許さない学習の機会に

公約を投げ捨てた民主党・現首相、政権を投げ出した自民党・元首相、「維新の会」の英語訳は「復古の会」の「三羽烏」はそれぞれ、激的な改憲発言、集団的自衛権行使容認の主張を繰り返しています。

民主党代表に選ばれた野田佳彦首相は名うての改憲論者。「私は新憲法制定論者です」(野田佳彦著『民主の敵—政権交代の大義あり』新潮新書 2009年7月)と言い放ち、「いざというときは集団的自衛権の行使に相当することもやらざるをえないことは現実起こりうる。自衛隊を海外に派遣するときのルールは一国もはや明確にしておくべき。恒久法が必要」(野田佳彦著同)と語っている人物です。民主党は公約を投げ捨てた結果、代表選は過去最低の投票率(33.7%)に終わるなど、党内からお見放される始末です。

自民党総裁選挙では、候補者となった5人全員が「憲法改正・国防軍設置」「集団的自衛権の行使」を掲げる改憲は、タカ派ぶりを見せました。その中で最も右翼と目されている安倍晋三元首相が総裁に選ばれました。安倍氏について、「任期中の改憲」をかけた国民の猛反発を受け政権を投げ出した事実は記憶に新しいところです。国民のなかでの不人気は、自民党内の党员投票で多数をとれず、総裁選挙後の世論調査でも安倍総裁を評価38%、評価しない49%(「日経」9月28日)という結果でも明らかです。

「日本維新の会」が9月12日結成されました。橋下人気を頼って、選挙目当てに、各党から続々と流れ込む状況にあります。この党がかかげる「維新八策」などの「政策」が小泉政権の新自由主義にもとづく構造改革路線を極端に進めるだけでなく、9条や96条の改憲を表明し、集団的自衛権行使は当然と発言、国民から批判を浴びています。高数字を誇っていた同党の支持率は、フジテレビの調査で4.8%(9月20日)と前週(9.4%)の約半分、「朝日」の調査でも5%(8、9日調査)と急落しています。「RESTORATION PARTY」としている維新の会の英語表記は、「復古の会」とも訳せ、「体を如実に表す」と話題を呼んでいます。

憲法講座は10月20日、「改憲許すな、憲法を生かそう」を学びあおう

「2012年憲法講座」は3週間後に迫りました。浦田一郎明治大学教授「改憲論の現段階—改憲論のある改憲論とない改憲論を中心に」、西谷敏大阪市立大学名誉教授「橋下・維新の会—憲法・民主主義への挑戦」、日本共産党国会議員による野田改造内閣と安倍自民党新体制下の政治状況解明に、大きな期待が寄せられています。

いま、憲法が危ない！ 10月20日はこそって憲法講座(四谷区民ホール)へ

憲法会議と首都圏の各憲法会議は、『月刊憲法運動』読者など憲法会議とのつながりの深い人たちや、過去の講座参加者への参加呼びかけを直接行なうなどの活動を強めています。そ

の中で、民主党、自民党、維新の会など改憲派、タカ派による改憲、集団的自衛権行使容認発言など、憲法をめぐる新しい情勢—「いま、憲法が危ない」もとで、「じっとしてられない」と憲法講座への関心が急速に高まっています。

憲法会議は、10月20日(土)午後1時30分～(開場1時15分)、新宿区四谷区民ホールでの「2012年憲法講座」を、チラシを使うなどして、それぞれの団体の構成員や関係者のみなさんに知らせ、「当日はこぞって憲法講座へ参加を」と、呼びかけています。

【チラシのデータを別掲】

「憲法問題学習資料集④」で

9条守れ、憲法を生かそうの大運動を

「改憲めぐる新たな情勢と憲法を生かすたたかい—憲法問題学習資料集④」(B5判 88頁、1冊 1,000円、多部数の際は特別価格設定)は、8月下旬発行以来普及・活用が進んでいます。9月27日に埼玉憲法会議と中央憲法会議が行なったさいたま市内での憲法講座お知らせの団体回りの中で、対応者が「『自民党憲法改正草案』全文掲載は便利そう」などと次々購入しました。既刊の同資料集①～③とともに各地から注文が寄せられ、新しい憲法をめぐる情勢を読み解く強力な資料集として、期待を集めています。

【主な内容や申し込み方法などを示したチラシのデータは別掲】

九条の会講演会に 1800人

結成8年 9条守り憲法生かす運動のひろがり共有

九条の会は9月29日、「三木睦子さんの志を受けついで 九条の会講演会—今、民主主義が試されるとき—」を日比谷公会堂で開きました。1800人が参加しました。

講演会では大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝の呼びかけ人3氏が講演しました。また俳人「九条の会」、「九条の会」アピールに賛同する詩人の輪、憲法九条を守る歌人の会による朗読、小森陽一事務局長による呼びかけ人会議の報告と提起が行なわれました。講演会に先立ち、佐藤真子さんの歌唱が行なわれました。

大江氏は講演で、原発なくせ・再稼働反対、オスプレイ配備反対など国民の声の歴史的広がりにもかかわらず、財界とアメリカ言いなりでこの民主主義が脅かされ、それとの対決でもあること、憲法を守る運動もこれらと一体であることを強調しました。

奥平氏は、集団的自衛権行使容認の発言が相次ぎ、大変危険な状況となっているが、国民的な反撃も鋭く大きくなってきていることを紹介しました。

澤地氏は、三木睦子さんについて、三木さん自身が語った三木武夫氏が自民党に憲法改悪させないためにがんばっていたこと、三木さんの戦争に対する強い「拒否」の矜持を紹介、それらを受け継ぐ決意を語りました。

小森事務局長は、この日おこなわれた呼びかけ人会議での申し合わせとして、憲法セミナーの連続開催で、憲法をめぐる新しい情勢の解明をおこなうこと、草の根での学習活動の強化などを呼びかけました。